



さんさんレター

vol.14 

スペシャルインタビュー

MY パワーは、地域を元気にしたい人たちと共に活動を進めています。

そんな仲間の皆さんを **MY パワー PEOPLE** としてご紹介します！



MYパワー PEOPLE! ▶▶▶

#02

株式会社オーワ

かのう ゆうや
加納祐也さん(常務取締役)

たはら たかひで
田原孝秀さん(足助営業所 所長)

豊田市中心部地域の交通事業に長年携わっており、おいでんバスの運行などを行っている（株）オーワと MY パワーは、交通に関する2つのプロジェクトで協働しています。その内容について、経営企画部の鈴木雄也が伺いました。



MYパワー
鈴木

足助・御蔵自治区での高校生移動手段実証事業について教えてください。

2025 年 10 月から、高校生の通学支援に取り組んでいます。MY パワーと協働して行ったアンケート調査から、「自宅から最寄りのバス停まで車で 10～15 分かかり、保護者が送迎に負担を感じている」実態が見えてきました。そうした生徒を、予約制で自宅まで送迎しています。現在 6 名が登録し、1 日平均 1～2 名が利用。配車状況をふまえ、現在は帰宅便のみ運行しています。

これからの交通を、地域の皆さんと対話しながら共に考えていきたいです！



常務取締役の加納さん（左）と足助営業所所長の田原さん（右）



なぜ御蔵自治区での取り組みに参画を決めたのでしょうか。

人口減少や高齢化が進む中で、「何かしなければ」という思いは以前からありましたが、交通事業者単独では限界があるとも感じていました。MY パワーと相談する中で、足助地区全戸へのアンケート調査と御蔵での取り組みにつながりました。事業を始める前の座談会では、住民の方が抱える課題を直接聞くことができ、同時に運転手不足など弊社の状況も知ってもらえました。立場を越えて、地域の交通課題に向き合うきっかけになったと感じています。



旭・敷島自治区の地域拠点であるしきしまの家にはどのように関わっていますか。

2025 年 12 月に出発式が行われた有償の移動支援の仕組み「しきしま支え合い交通」。その運営に交通事業者として関わっています。運行前後の点呼や車両・健康状態の確認、緊急時の対応、帰路にタクシーが必要な場合の調整など、日々のオペレーションを担う役割です。

行政任せにするのではなく、地域の課題を地域で解決しようとする姿勢は、これからのまちづくりにとても重要だと感じています。



今後の交通のあり方について、どのような展望をお持ちでしょうか。

御蔵やしきしまの家の取り組みが走り始めたことで、「交通を軸にした地域連携は可能だ」という実感が湧いてきました。特に、事業者だけでなく利用者の方にも輪の中に入ってもらい、仕組みを一緒につくっていくことに大きな可能性を感じています。今後の1 年はモノや人の移動に困難を感じている住民や団体、事業者との横のつながりをさらに広げていきたい。MY パワーの電気を使う人が増え、地元にお金が落ちる循環が生まれれば、交通などのサービスにも還元できる。そんな地域の循環を思い描きながら、引き続き MY パワーと一緒に取り組んでいきたいと思っています。

取材を終えて

この地域で交通事業を営んできたオーワさんと一緒にすることで、地域の足を担う責任について実感することができました。MY パワーは地域の事業の事業者さんと共に、地域課題に取り組みたいと思っています！（鈴木雄也）

松平こども小水力発電ワークショップに参加

12月11、26日に九久平小学校で開催された「松平こども小水力発電」主催のワークショップにお手伝いとして参加しました。九久平小学校の2・6年生の有志が参加し、11日はポータブル電源を使って、普段使用している家電がどのくらい電力を消費しているのかを調査。その結果、ドライヤーやケトルなど熱を発生させる家電が多くの電力を使うことを学んでいました。26日は小水力発電の初号機の外枠づくりに挑戦。アルミフレームを継手で一つひとつ組み立てていく作業に熱中していました。完成後の振り返りでは、「自分たちで設計するのは難しかったけど、みんなと協力して上手に組み立てられてよかった」といった感想が聞かれました。次回以降は水車を取り付け、実際に川に設置して発電させる予定です。(生田和也)



完成した小水力発電の初号機外枠

奥飛騨温泉郷・福地温泉小水力発電所を視察

11月20日(木)、稲武地区大野瀬町梨野集落の住民12名とともに、奥飛騨温泉郷・福地温泉にある小水力発電所を視察しました。この発電所は、温泉宿を営む有志5名が運営会社を立ち上げ、2021年から稼働しています。売電利益を空き家のリフォームに充て、移住者によるカフェ開業につながった事例についてもお話を伺いました。

現在、梨野集落でも、住民主体の小水力発電所の計画が進められており、MYパワーもそのサポートをさせていただいています。小水力発電をとおして地域の未来を本気で考えている梨野の皆さんに感銘を受け、MYパワーもその取り組みを全力で応援していきたいという思いを新たにしました。(生田和也)



小水力発電所内部の視察の様子

敷島自治区で公共ライドシェアがスタート

12月22日(月)、敷島自治区「しきしまの家」で「しきしま支え合い交通出発式」が行われました。MYパワー設立当初から運営している高齢者の移動支援「たすけあいカー」ですが、敷島自治区では、敷島の住民ドライバーと利用者を「しきしまの家」がマッチングする取り組みを試行的に行っていました。

さらに安定的な運営を目指して改善案を検討していたところ、地域の交通事業者である(株)オーフ足助営業所様や豊田市役所交通政策課の協力をいただき、豊田市で初めて、有償で住民ドライバーが運転を行う公共ライドシェアが立ち上がりました。今後も、地域の支え合いと、移動の安心への貢献を目指していきます。(鈴木雄也)



(株)オーフによる運行管理方法の紹介

MYパワー Q&A よくあるご質問にお答えします!

Q. 2026年1月～3月の期間で実施される電気・ガス料金負担軽減支援事業について、補助を受けるための申請は必要ですか?補助による値引き額の確認方法はありますか?

A. お客様による補助を受けるための申請は**必要ありません**。MYパワーが同事業の申請手続きを行い、対象期間の電気代から補助金額分だけ値引きをいたします。また、補助による値引き額の確認は、毎月お送りしております**請求書をご確認ください**。支援事業に関するご案内については、**MYパワーのホームページ**をご覧ください。

